

# BookMark 2014年9・10月合併号 (通巻第74号)

## 城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス [library1@josai.ac.jp](mailto:library1@josai.ac.jp)

TwitterID @lib\_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→



## 図書館月別展示企画「学生に読んでほしい教員おすすめ本」によせて

城西大学・城西短期大学 学長 森本 雍憲

今からもう60年以上も昔の話になりますが、夜空を見上げて、光り輝く星のその美しさと、火星などには奇妙な姿の火星人が住んでいるなどと思いつき、何時の日かロケット技術の進歩で行けるかもしれないと考えていました。真空の世界についての実感など全く無く、無というものを漠然と信じていましたが、今日の広大な宇宙の誕生、さらにはその活動をも説明する法則の詳細を研究する宇宙物理学と、微細の世界で成り立つ法則を研究する素粒子物理学が、根っこのところで結びついていることが認められてきているとは、門外漢にとっては只々驚嘆するのみであります。

これらの新しい研究成果を、『宇宙は何でできているのか-素粒子物理学で解く宇宙の謎-』の中では、専門外の人に可能な限り平易に(数式等を用いていないのが素晴らしい)説明し、物理学の進歩を指し示しながらも、今なお限りなく存在する課題を指摘しつつ、これからの宇宙の運命、地球誕生の秘話を書き記しており、多少とも星空の生成に興味(「自分たちの暮らす宇宙」のを知りたいという気持ち)を持っている人にとっては、本書は格好の入門書であり、さらなる興味の膨満へ向けて、大いに参考になること請け合いです。

興味が拡大したところで、『宇宙は無数にあるのか』をお奨めします。先の本にも出てきます、「ビッグバン」に至る過程を説明する考えの一つに「インフレーション理論」があり、その提唱者の一人が日本人の著者、佐藤勝彦氏であります。宇宙に関するお話ですから、多くの専門用語が2冊の本で共通していますが、縦糸と横糸のように絡み合っており、読み合わせると定性的な理解が深まるものと思います。この本で特に興味が高まったのは、地球に生命が誕生し存在することに、地球を取り巻く宇宙環境(例えば、今の重力が僅かでも強かったとしたら人類は生まれていない?)が最適な状態にあるという指摘です。

先に示した2冊は、物理学の最新の専門的な進歩を、かなり平易に述べたものですが、R.P. ファインマンが著わした『光と物質のふしぎな理論-私の量子電磁力学-』は、ノーベル賞受賞者である著者が、自分の専門分野である量子電磁力学を、かなりの努力をして、物理学が全然わからない一般知識人に、量子(粒子と波の性質を有するもの)ということを解説したものであり、優れた研究者の熱意が感じられる記録です。こちらを先に読む方がBetterでしょうか?

### 学長のおすすめ図書(図書館1F展示コーナーにて紹介中)

- ◆宇宙は何でできているのか / 村山齊著 429.6/Mu62
- ◆宇宙は無数にあるのか / 佐藤勝彦著 443.9/Sa85
- ◆光と物質のふしぎな理論 / R.P. ファインマン [著] 釜江常好ほか訳 421.3/F23



### 9月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 10月の開館日のお知らせ

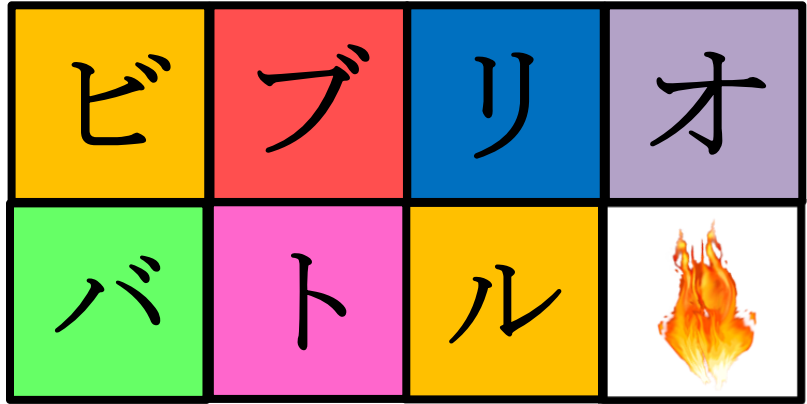
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 図書館開館時間

- =9:00~21:00
- =9:00~19:00
- =9:00~17:00
- =休館日です

今年も開催!

# 知的書評合戦



城西大学では4年目になるビブリオバトル。今年は総勢20名がエントリーしました。今回は団体(ゼミ)代表者の参加も迎え、さらに白熱したバトルが観戦できること間違いなし! 10月3日の城西大会予選では4つのグループに分かれて戦い、そこでチャンプになった人とゼミ代表が高麗祭の学祭特設ステージ上で決勝戦となります。そして予選会でチャンプとなった人は全国大会関東予選会へ駒を進めていきます。

10月3日(金)15:30~  
図書館2階視聴覚室/3階グループ学習室  
**城西大会予選** (兼 全国大会予選会)

ゼミ代表

チャンプ



学内者のみ



11月3日高麗祭  
**城西大会決勝**  
多くの学祭来場者の前で  
学内チャンピオンに  
なれるチャンス!!



全国大会  
関東予選



12月14日  
全国大学ビブリオ  
バトル2014  
~京都決戦~

**ビブリオバトルとは?**  
制限時間5分間でお勧めの本を紹介しあう書評ゲーム。観客が一番読みたくなった本に投票し、「チャンプ本」を決めます。



(昨年の様子)

**注意!**  
チャンプ本は観戦者の投票で決まりますが、投票権があるのは試合を最初から最後まで観戦した人のみです。ジャッジするのはあなたです。時間に遅れないようお越しく下さい。

ビブリオバトルのことをもっと知りたくなったら

- \*ビブリオバトル：本を知り人を知る書評ゲーム(文春新書) 谷口忠大著  
開架図書(3階) 019.9//Ta87
- \*ビブリオバトル入門：本を通して人を知る・人を通して本を知る ビブリオバトル普及委員会編著  
開架図書(3階) 019.9//B41
- \*ビブリオバトル首都決戦2013地区予選会実地報告書 [ビブリオバトル首都決戦2013予選事務局編]  
開架図書(3階) 019.9//B41//2013

# 気にしていますか？ 著作権

著作権を侵害してるかも。あなたは大丈夫？

- ✖他人のレポートの一部を丸ごとコピーする
- ✖Twitterなどで他人の発言内容をコピーして自分の意見のように発信する
- ✖新聞や雑誌を撮影したものをそのままWeb上にアップロード

悪気がなくてもこういったことは他人の著作権を侵害することになり、トラブルのもとにもなりかねません。レポートに引用するときだけでなく、Twitter、Facebook、ブログなど身近なところでも気を付けなければならないことがあります。

引用は著作権法で認められていますが、

**「自分の文章が“主体”であること」**

**「引用箇所がわかるようにすること」**

**「必ず出典を明記すること」**

ここもチェック！

図書館ホームページ情報リンク集(著作権・法令)  
<http://libopac.josai.ac.jp/search/infolink.htm>

といった明確なルールがあります。図書館のコピー機にも著作権法で「図書館の資料のみ」複製が許可されるというルールがあり、私物のコピーはできません。これを軽視すると裁判になる例もあります。インターネットで物事が簡単に検索できる時代になりましたが、情報の真偽を見分ける「情報リテラシー」を身に付けると共に、モラルもしっかり守っていきましょう。

図書館では著作権に対する意識の啓発を目的とした講演会を行う予定です。講演会は著作権・翻訳権などを多く取り扱う出版社の担当者から、身近な事例を交えて著作権についてお話ししていただきます。また、講演会と連動して2014年度第2回学生選書も開催を予定しています。

## 数学科特別講義のために来日された 加藤五郎先生にインタビューしました。

数学科の小木曾先生の研究室訪問にうかがった際、数学科特別講義のために来日された加藤先生を紹介していただき、インタビューが実現しました。

加藤先生からは「アメリカの学生は6割が卒業できないほど厳しい」といったお話から「図書館は学習の場としてだけでなく社交の場にもなっている」といった図書館の違い、日本の学生に対する支援策として「グループ学習室の拡充や教員と連携して学習意欲を高めることなどが必要。研究支援としては各講義のレクチャーノートが図書館にあるとよいのでは」といった提言もいただくことができました。

アメリカでの生活の様子などもユーモアたっぷりに話され、和やかながらも実りあるお話を聞かせていただきました。



◆加藤 五郎(Goro Clark Kato)氏 (カリフォルニア州立工芸大学教授)

渡米して40年、カリフォルニア州立工芸大学で数学科の教鞭をとるかたわら、毎年恒例で1ヵ月間日本に滞在し、城西大を含め日本各地で講演を行っている。

図書館蔵書『コホモロジーのころ』 岩波書店 開架図書(3階) 415.7//Ka86

## 今月の展示(9~10月) 「学生に読んでほしい教員おすすめ本」

今月の展示は教員の方々に選んでいただいた「学生に今読んでほしい本」特集。講義を受けている先生からのおすすめ本です。読書の秋、新しい本との出会いが皆さんの学生生活を変えるかも。ここに掲載した本以外にもたくさんおすすめしていただきました。ただいま推薦文付きで1F展示コーナーにて紹介中です。



### 経済学部

神崎直美先生 『明治人の力量』 勝浦信幸先生 『20歳のときに知っておきたかったこと』  
 小林孝雄先生 『市民科学者として生きる』 小山真理子先生 『青が散る』  
 玉城逸彦先生 『パンダをいくらで買いますか?』 場勝義雄先生 『経済は感情で動く』

### 経営学部

佐竹博先生 『日本のもの造り哲学』  
 持丸邦子先生 『プロメテウスの罠』  
 吉田博行先生 『仕事人が人をつくる』

### 現代政策学部

飯塚智規先生 『来るべき民主主義』  
 真殿仁美先生 『昔はよかった』と言うけれど』  
 森田昌幸先生 『スモール・イズ・ビューティフル』  
 柳澤智美先生 『インフェルノ (上・下)』

### 理学部

石川満先生 『フーリエの冒険』  
 宇和田貴之先生 『大東亞科学綺譚』  
 小木曾岳義先生 『「大発見」の思考法』  
 横山文郎先生 『二重らせん』

### 薬学部

関俊暢先生 『われ思うゆえに思考実験あり』  
 谷覺先生 『人と薬の羅針盤』  
 真野博先生、松本明世先生 『地域食材大百科』

### 語学教育センター

高橋久美先生 『イリアス(上・下)』  
 高嶺エヴァ先生 『外国語上達法』



おすすめコメントは直接展示  
 を見てチェック!  
 学長のおすすめ本は巻頭言で紹介  
 しています。

## 図書館彙報

■	オープンキャンパスを7月20、27日 8月3、16、23日に開催しました。参加者は合計で491名、キーワードラリーへの参加は145名でした。
■	8月25日~9月5日まで就活DVD上映会を開催しました。参加者は延べ22名でした。
■	11月5~7日にパシフィコ横浜で開催される第16回図書館総合展ポスターセッションに参加します。
■	7月1日 情報セキュリティ講習会に参加しました。
■	7月7日 埼玉県大学・短期大学図書館協議会幹事会に出席しました。
■	7月10日 地域相互協力図書館館長と主務者の集いを開催しました。救急救命講習に参加しました。
■	7月14日 京北学園白山高校の生徒4名と東京都立拝島高校の生徒4名が図書館を見学しました。
■	7月29日 坂戸市立図書館協議会に出席しました。
■	8月4日 第1回SPARC Japanセミナーに参加しました。
■	8月8日 教員免許更新講習の一講義が図書館で行われました。
■	8月21、22日 日本薬学図書館協議会研究集会に出席しました。
■	8月25~27日 図書館等職員著作権実務講習会に参加しました。
■	8月28日 薬学図書館雑誌編集委員会に出席しました。
■	8月28-29日 私立大学図書館協会総会に出席しました。
■	8月29日 防災訓練を行いました。